



2025年2月14日

各位

会社名 第一生命ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 菊田 徹也
(コード番号:8750 東証プライム)
問合せ先 経営企画ユニット IRグループ
(TEL 03-3216-1222(代))

第一生命ホールディングス株式会社
2025年3月期 第3四半期決算概要資料

2025年3月期 第3四半期 決算報告

2025年2月14日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

By your side, for life



● 本日のポイント

P.3

※グループ各社のデータ等につきましては、当社HPにて掲載いたします。

<https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/index.html>

※記載数値の端数処理を切り捨てから四捨五入に変更しています(一部を除く)。

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2024/12末	158.18円	164.92円	98.50円
2024/9末	142.73円	159.43円	98.73円
2024/3末	151.41円	163.24円	98.61円
2023/12末	141.83円	157.12円	96.94円
2023/9末	149.58円	158.00円	96.06円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	4-3月
DFL	第一フロンティア生命		100%	
NFL	ネオファースト生命		100%	
ipet	アイベット		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	1-12月
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	1-12月
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	
非保険事業(アセットマネジメント事業・新規事業)				
AMO	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月
AMO(US)	アセットマネジメントOne(USA)	[米国] Asset Management One USA	49%(議決権) 30%(経済持分)	1-12月
VTX	パーテックス・インベストメント・ソリューションズ		100%	4-3月
CP	キャニオン・パートナーズ	[米国] CP New Co	19.9%	1-12月
BO	ベネフィット・ワン		100%	4-3月
その他				
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	1-12月

連結業績

良好な市場環境を背景に、グループ修正利益は期初通期予想の3,400億円を超過

グループ修正利益

3,596億円

国内 2,702億円

海外 803億円

▶ 前年同期比+68%(期初通期予想対比進捗率:106%)

国内

DLが利配収入の増加による順ざやの拡大や有価証券売却損益の上積みで期初通期予想を超過する等、国内全体で前年同期比+77%増

海外

PLC・TALともに期初通期予想対比で概ね順調な進捗、海外全体で前年同期比+31%増

新契約業績

ANP・VNB共に前年同期比を上回る順調な進捗。VNBは国内3社計で通期予想を引き上げ

新契約年換算保険料
(ANP)

4,177億円

グループ新契約価値
(VNB)

国内3社概算
約830億円

▶ 前年同期比+12% ※為替影響除く

DL・PLCの販売拡大やTALの大型団体保険獲得がDFL・NFLの販売減少を相殺し、前年同期比で増加

▶ 期初通期予想(国内3社)対比進捗率:104%

上期からの新商品効果による販売量増加を背景に、DLが期初通期予想を大幅に超過、国内3社計の通期予想は、1,000億円程度を見込む

通期予想の修正

グループ修正利益は4,150億円程度、DPSは133円に通期予想を引き上げ

グループ修正利益

4,150億円程度

DPS

133円

▶ 期初通期予想比 +22%増

中期経営計画最終年度(2026年度)の利益目標等についても見直しを検討

▶ 期初通期予想比 +11円増配

25/3期DPSは、グループ修正利益の上方修正に基づき、133円への増配を見込む

トピック

セカンドキャリア特別支援制度の募集期間が終了し応募者数が確定

▶ 応募者数は、募集人数(1,000人)を大きく上回る1,830人(制度実施に伴う特別損失は290億円程度となる見通し)

決算のポイント – グループ修正利益（国内・海外別進捗状況）

国内事業: 利回り改善等による順ざや拡大に加え、一過性利益等もあり期初の通期予想を超過

DLで、国内株式売却が計画より前倒しで進捗し売却益が早いタイミングで計上された他、利配収入等が上振れたことで順ざやが改善し期初通期予想を超過。DFLは、米金利急騰懸念の後退に伴う運用費用の減少や円安に伴う解約益の増加等により期初通期予想を超過。

海外事業: 引き続き順調な進捗を維持

海外全体で期初通期予想に対して78%と順調な進捗。PLCは保険前提の見直しに伴う損失を3Qで計上するとともに9月末の為替水準が円高となったことで進捗が鈍化しているものの、現地通貨ベースでの進捗はオントラック。12月末の為替水準は円安となっており、見通しは良好。TALも計画を上回る順調な進捗。

対通期業績予想の達成状況(国内・海外)

		修正利益 ⁽¹⁾	期初通期予想比 ⁽¹⁾ (参考)	前年同期比 ⁽²⁾
		(下段: 今回予想比)	前年同期比 ⁽²⁾	
グループ連結		3,596億円	106% (87%)	+68%
国内事業		2,702億円	114% (92%)	+77%
DL	株式・オルタナ資産の増配や円債の利回り改善等による利配収入増加で順ざやが改善した他、国内外の株式売却等により有価証券売却益が拡大	2,438億円	113% (92%)	+45%
DFL	米金利急騰懸念の後退に伴う運用費用の減少や円安に伴う解約益の増加等により期初通期予想を超過	281億円 グループ内への出再ブロックを含む利益貢献額 389億円	112% (80%)	-
海外事業		803億円	78% (73%)	+31%
PLC	保険前提見直しによる損失を計上も、運用益や事業費抑制等で相殺。9月末が円高となったことで円貨ベースでは期初想定未達も、現地通貨ベースでは期初想定通りの進捗。(12月末の為替水準は期初想定より円安が進行)	328億円	69% (60%)	+172%
TAL	保険金支払増加の影響は残るも、良好な継続率に支えられて、引き続き高い進捗を維持	314億円	84% (84%)	△9%

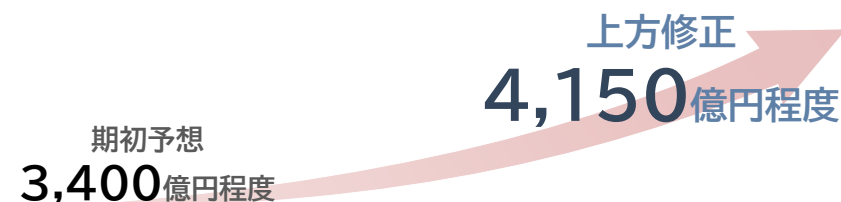
グループ修正利益の通期予想修正について

【2Q決算開示時点】

経済見通しや「セカンドキャリア特別支援制度」実施に伴う特別損失の計上額見通しが不透明だったことを踏まえ、上方修正を実施せず

【今回】

左記の不透明性が一定程度解消される中、一部要素の上振れ幅の更なる拡大や、実現確度の高まりが見られたため、上方修正を実施



2Q開示時点以降の主な通期見通しの変化

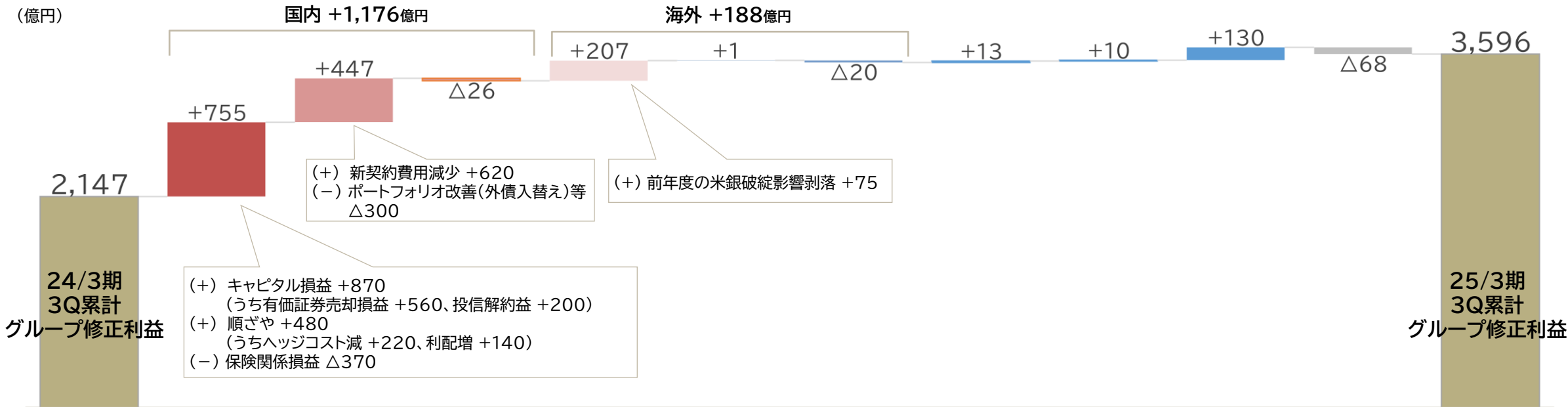
- ✓ 「セカンドキャリア特別支援制度」の応募人数の確定(DL)
- ✓ 順ざやのさらなる拡大(DL)
- ✓ 修正利益通期見通しの上振れ確度の向上(DFL/PLC)

(1)事業別・各社別の修正利益・通期予想比については、DL・DFL・NFL・TALにおけるグループ内再保険に係る損益等を調整した数値を表示 (2)PLC・TAL・PNZは25/3期より修正利益の基準を変更。前年同期比は旧基準との対比

決算のポイント – グループ修正利益(前年同期比増減)

- ▶ グループ修正利益は前年同期比+68%の3,596億円。
- ▶ 国内では、DLにおいて有価証券売却益の増加や順ざやの改善等で増益となった他、DFLで新契約費用が減少したこと等を主な要因に前年同期比で大きく増益となった。海外では、PLCが3Qの保険前提見直しを加味した上でも前年同期比増益を維持。

グループ修正利益・前年同期比変動要因



	DL	DFL	NFL/ipet	PLC ⁽¹⁾	オセアニア ⁽¹⁾	アジア	非保険事業 (AM)	非保険事業 (バネフィット・ワン)	DLRe	HD/その他	合計
25/3期 3Q累計	2,438	281	Δ17	328	368	107	38	10	179	Δ135	3,596
24/3期 3Q累計	1,683	Δ167	9	120	367	127	25	—	49	Δ67	2,147

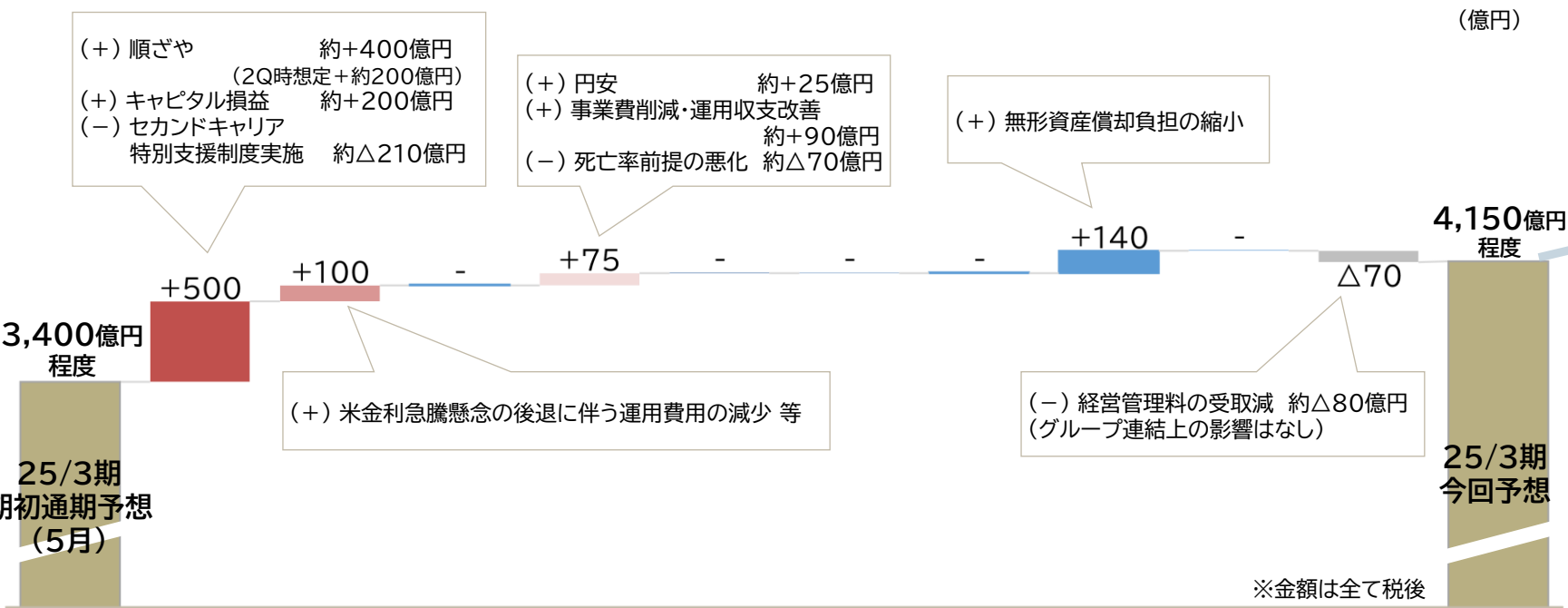
(1) PLC・TAL・PNZは25/3期より修正利益の基準を変更。24/3期の修正利益は旧基準



トピック - 2025年3月期 グループ修正利益予想・1株あたり配当予想の修正

- ▶ グループ修正利益予想は、DLの順ざや・キャピタル損益の上振れや、ベネフィット・ワンの無形資産償却負担の縮小等の上振れ要因が、DLのセカンドキャリア特別支援制度に伴う一時損失やPLCの死亡率前提変更といった下押し要因を大きく上回り、期初通期予想を750億円上回る4,150億円程度を見込む
- ▶ 1株あたり配当金予想は、グループ修正利益予想の上振れを受けて、期初通期予想を11円上回る133円(うち61円は中間配当として払込済)を見込む

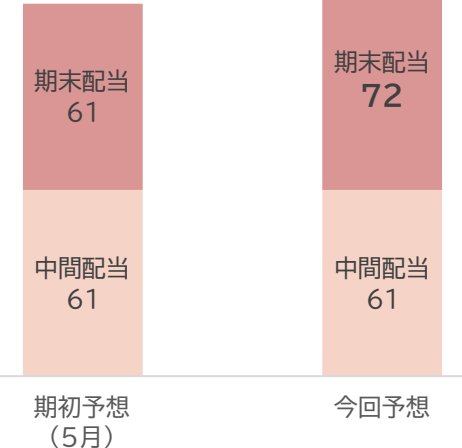
グループ修正利益予想の変動要因



	DL	DFL	NFL/ipet	PLC	オセアニア	アジア	非保険事業 (AM)	非保険事業 (ベネフィット・ワン)	DLRe	HD/その他	
今回予想	2,650	350	△60	550	420	130	50	20	180	△140	4,150程度
通期予想 (5月)	2,150	250	△60	475	420	130	50	△120	180	△70	3,400程度

1株あたり配当金予想

	2022年度	2023年度	2024年度(予想)
修正利益	1,845	3,194	4,150

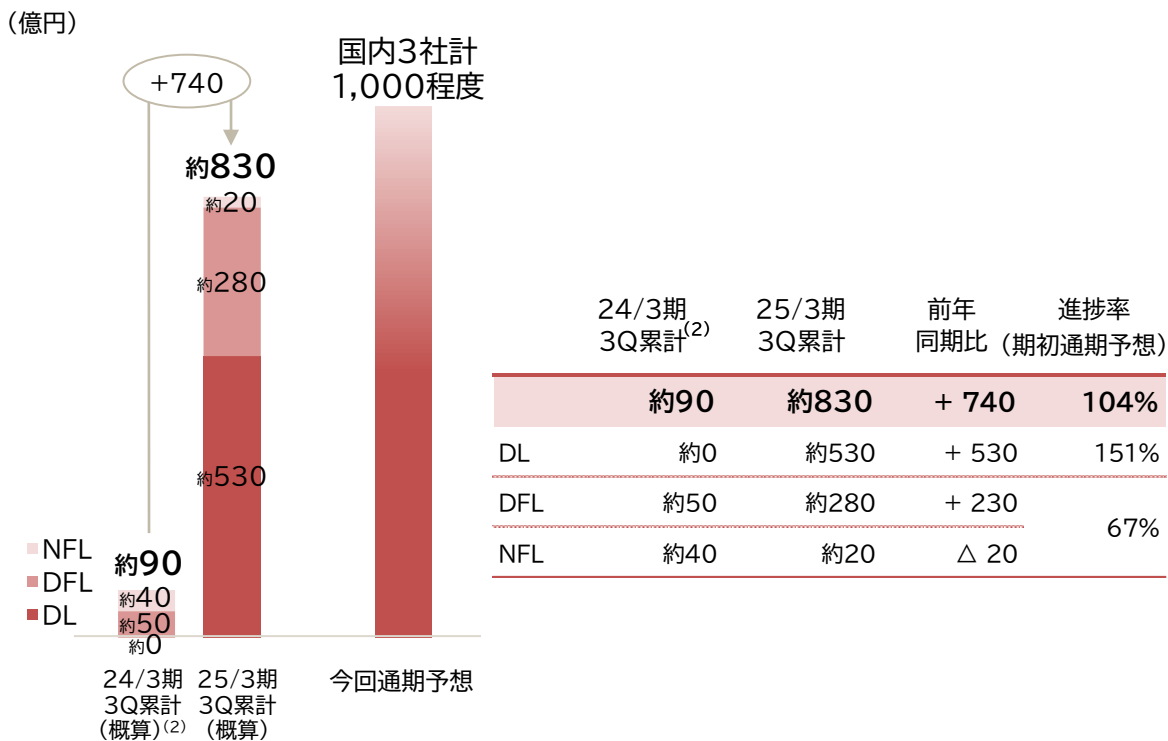


(1) 25/3期通期予想の1株あたり配当は、本日公表した株式分割(効力発生日 2025年4月1日)を反映する前の金額

決算のポイント – 契約実績(新契約価値、新契約・保有契約年換算保険料)

- ▶ 新契約価値は約830億円(国内3社概算)。新商品の投入により販売量が増加したDLが貢献し、期初通期予想を上回る進捗
- ▶ 新契約ANPはグループ全体で、前年同期比+10%の4,177億円(為替影響除き +12%)。上記要因に加え、PLCで定額年金の販売が好調に推移したことで前年同期を上回り、海外全体では為替影響除きで前年同期比+75%(為替影響含み +70%)

新契約価値(国内概算値⁽¹⁾)



新契約年換算保険料

(億円)	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前年 同期比
国内4社計	2,892	2,665	△7.9%
DL	338	769	+127.4%
うち第三分野	208	294	+41.3%
DFL	2,408	1,752	△27.2%
うちDLチャンネル販売	552	272	△50.7%
NFL	97	91	△6.5%
うちDLチャンネル販売	47	9	△79.7%
ipet	49	53	+7.3%
海外6社計	890	1,512	+69.9% (+74.6%)
PLC	579	826	+42.6% (+49.4%)
TAL	100	480	+377.8% (+370.3%)
PNZ	28	34	+22.8% (+23.8%)
DLVN	173	157	△9.0% (△3.8%)
DLKH/DLMM	9.4	15.0	+58.8% (+66.3%)
第一生命グループ計	3,782	4,177	+10.4% (+11.5%)

保有契約年換算保険料

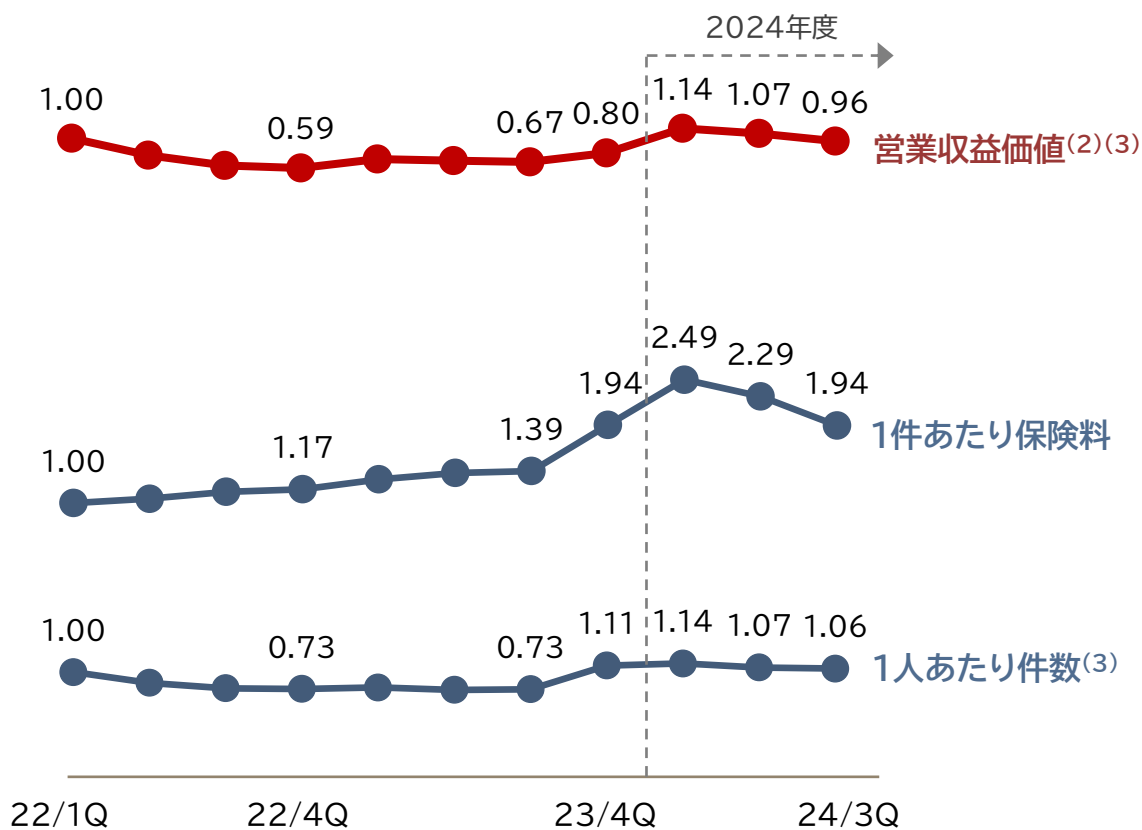
	2023年度末	2024年度 3Q末	前期末比
	32,634	33,391	+2.3% (+1.4%)
DL	19,495	19,514	+0.1%
うち第三分野	6,905	6,913	+0.1%
DFL	11,776	12,495	+6.1% (+3.6%)
NFL	1,001	988	△1.3%
ipet	362	395	+9.0%
海外6社計	15,474	15,596	+0.8% (+0.6%)
PLC	7,662	7,814	+2.0% (+1.3%)
TAL	6,014	5,974	△0.7% (△0.6%)
PNZ	559	577	+3.3% (+4.8%)
DLVN	1,221	1,204	△1.4% (△0.7%)
DLKH/DLMM	18.2	27.0	+48.2% (+47.1%)
第一生命グループ計	48,108	48,987	+1.8% (+1.2%)

(1)計測対象および計測手法について一部簡便的な取扱いを行った概算値
 (2)24/3期3Q累計は現行基準(J-ICS基準に準拠)を適用していない数値(EEV原則に準拠)

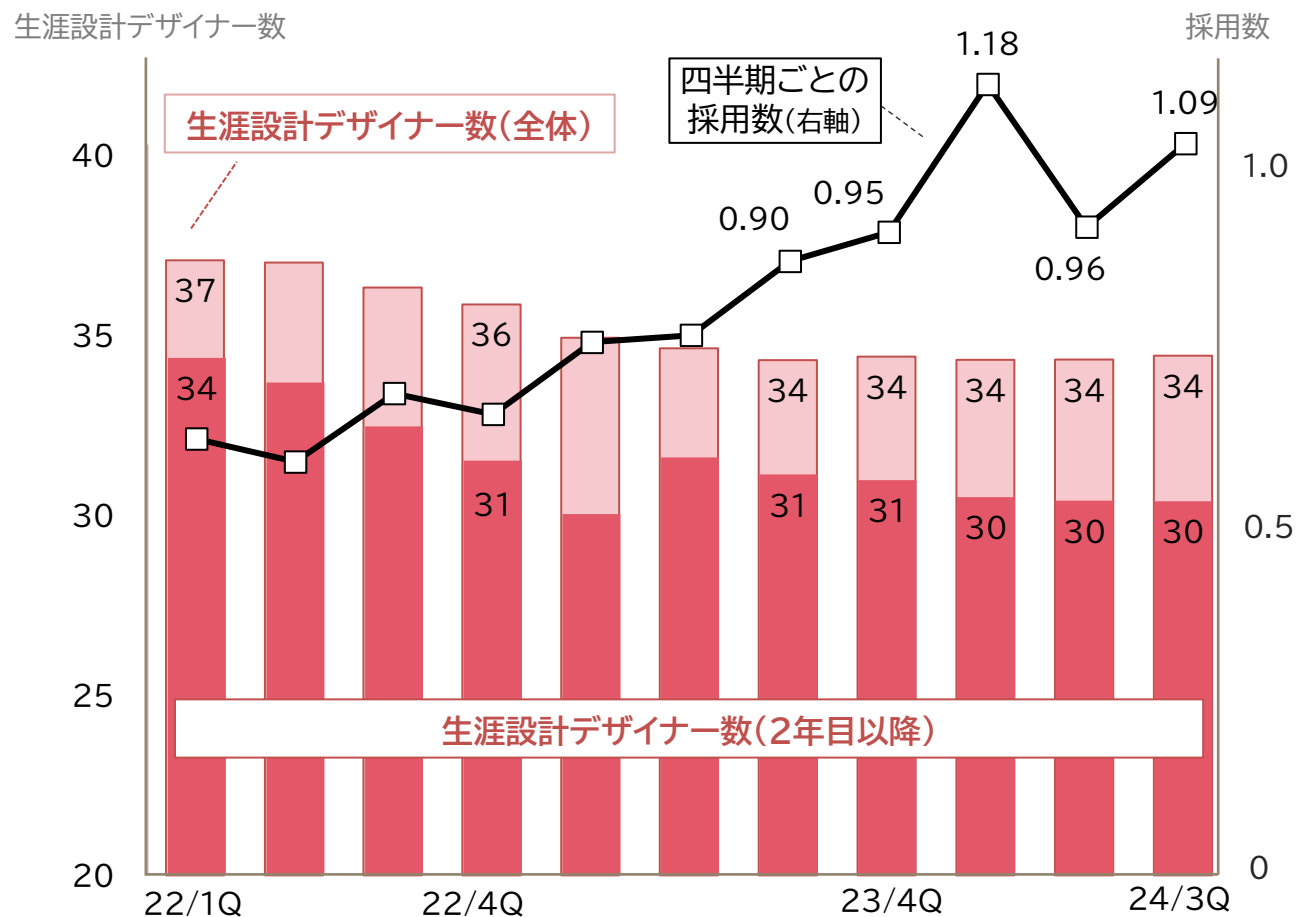
決算のポイント – 新契約業績 (DL生涯設計デザイナーチャンネル)

- ▶ ステップジャンプ(24年1月発売)の販売一巡でDLの営業収益価値は一服も、生涯設計デザイナーの年間採用数は年間計画を上回る約4,300人となった
- ▶ 営業効率の向上、優良人材の採用による陣容クオリティの引上げをドライバーとして引き続き営業業績向上に取り組んでいく

DL営業収益価値の推移(生涯設計デザイナーチャンネル)⁽¹⁾



DL生涯設計デザイナー数の推移(千人)



(1)2022年度1Qを1として指数化した数値。(2)営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標。コスト控除前の経済環境の変動要因を除外した数値。24/1Qに算出基準の一部を変更(23/1Qから遡及適用)
 (3)1年目を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算

決算のポイント – 資本充足率(ESR)

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業

Dai-ichi Life Holdings

- ▶ 円金利上昇による大量解約リスクの増加や円安進行等の市場要因の変動により所要資本が微増した一方で、株主還元に伴い適格資本が減少したこと等により、資本充足率(ESR)は前期末比 $\Delta 13\%pt$ の約213%
- ▶ 海外子会社を含む新基準のESR(2025年3月末数値)を2025年5月に開示予定

資本充足率(ESR) ※概算値

24/12末

約213%

(前期末比)
 $\Delta 13\%pt$

24/3末
226%

24/12末
約213%

適格資本
9.6兆円

所要資本
4.3兆円

約 $\Delta 4,200$ 億円
減少

約9.2兆円

約4.3兆円

約+600億円
増加

円金利上昇の影響について (ESR)

- ▶ 現時点のJ-ICSのモデル上、金利上昇に伴う大量解約リスク増加の影響を受けるため、金利上昇時にESRは低下(自己資本・EVは増加)
- ▶ 内部モデル上の大量解約リスクの取り扱いについては、引き続き検討

(その他)

- ▶ 円金利上昇のマーケット環境は、円建債券の利回り改善や出再コストの減少等を通じて、中長期的な会計利益に対してプラスの影響(保有債券の入れ替えに伴い、単年度のP/Lにはマイナスの影響)
※今年度の債券入替え・積増しで、+190億円/年の利回り改善効果を見込む
- ▶ 保有債券は金利上昇に伴い時価が低下するが、確定利付資産の約80%を占める責任準備金対応債券は取得価額評価であり、売却を行わない限り直接的な影響はない

2025年3月期 通期業績予想

グループ連結

海外保険事業

国内保険事業

非保険事業

Dai-ichi Life Holdings

- ▶ グループ修正利益は、3Q累計で通期予想に対して進捗率106%と好調に推移。現在の業績を踏まえて、25/3期の通期予想を上方修正する
- ▶ 1株当たり配当は、通期予想122円(前期比+9円)から、11円増配の133円に引き上げる

(億円)	24/3期 3Q累計	25/3期 3Q累計	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	24/3期 通期実績	25/3期通期予想		業績予想 増減額
							5月公表予想	今回	
連結経常収益	77,674	78,397	+ 723	+ 1%	88%	110,282	89,220	101,920	+ 12,700
第一生命	29,742	30,782	+ 1,040	+ 3%	81%	40,870	37,920	42,610	+ 4,690
第一フロンティア生命	31,081	27,475	△ 3,606	△ 12%	81%	43,938	33,990	34,330	+ 340
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	8,807	11,047	+ 2,240	+ 25%	103%	13,532	10,680	14,980	+ 4,300
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	6,522	6,360	△ 162	△ 2%	85%	8,574	7,500	-	-
連結経常利益	3,739	5,576	+ 1,837	+ 49%	99%	5,390	5,620	6,880	+ 1,260
第一生命	3,069	4,027	+ 958	+ 31%	100%	3,913	4,030	5,110	+ 1,080
第一フロンティア生命	△ 154	426	+ 580	-	95%	211	450	590	+ 140
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	△ 9	374	+ 383	-	98%	138	380	460	+ 80
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	508	491	△ 17	△ 3%	88%	610	560	-	-
連結純利益⁽²⁾	2,179	3,537	+ 1,358	+ 62%	110%	3,208	3,230	3,850	+ 620
第一生命	1,683	2,428	+ 745	+ 44%	111%	2,039	2,180	2,650	+ 470
第一フロンティア生命	△ 130	272	+ 402	-	97%	157	280	360	+ 80
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	△ 9	304	+ 313	-	98%	116	310	380	+ 70
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	355	340	△ 15	△ 4%	87%	430	390	-	-
グループ修正利益⁽³⁾	2,147	3,596	+ 1,450	+ 68%	106%	3,194	3,400程度	4,150程度	+ 750
グループ新契約価値	-	-	-	-	-	545	1,050程度	-	-
						113	122	133	+11
						1株あたり配当(円)⁽⁴⁾			
(参考)基礎利益	3,404	4,338	+ 934	+ 27%	82%	5,252	5,300程度	6,000程度	+ 700
第一生命	2,231	2,340	+ 109	+ 5%	84%	3,310	2,800程度	3,400程度	+ 600

(1) PLCおよびTALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益

(3) PLC・TAL・PNZの24/3期の修正利益は旧基準 (4) 25/3期通期予想の1株あたり配当は、本日公表した株式分割(効力発生日 2025年4月1日)を反映する前の金額

本資料の問い合わせ先
第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。